

地球科学輻合ゼミナール

(2013年度 前期 第3回)のご案内

宇宙の水、太陽系の水、地球の水

土山 明

京都大学 大学院 理学研究科 地質鉱物学分野

水分子をつくる水素と酸素は宇宙や太陽系に普遍的に存在し、水も太陽系形成初期から条件に対応して氷や水・水蒸気あるいは鉱物中の水酸基や水分子として存在している。一方、地球は「水の惑星」と呼ばれるが、現在の海の質量は地球の質量の0.023%にすぎず、水は地球にとって微量成分である。水が太陽系形成にどのような影響を与えたのか、太陽系には現在どのような形で水が存在しているのか、また地球の水の起源はどのように考えられているのかについて述べる。

5月15日(水) 午後4:30~午後6:00

場所: 理学研究科6号館 303号室